

エクセルシステム

コスト抑え大手より4割安

LED照明販売開始

新たな事業の柱に期待

ソフトウェア開発・販売のエクセルシステム新潟市中央区は、電気工事店や建設会社向けに発光ダイオード(LED)照明の販売を始めた。大手の製品より約4割安い(同社)のが特徴。長寿命で消費電力が少ないため、需要が伸びているLEDの販売を、新たな事業の柱に育てたいと考えた。

販売するLED照明は、同社の渡辺和市長が取締役を務める「ルクス・エナジー」(東京)が開発、中国で製造している。「ノンブランドで勝負するには価格競争力が必要」(渡辺社長)と開発・生産コストを抑え、低価格を実現した。蛍光灯型、電球型、街路灯型の3タイプ。エクセルシステムが販売を始めたLED照明



蛍光灯型はカバーが3など設置する場所に応じ種類あり、事務所や工場で光の広がり方を変えら

れる。長さは2尺を超える110型から33型の10型まで6種類、インバーターは内蔵されている。

渡辺社長は「集合住宅の共有スペースや店舗、遊技施設などで大口需要が期待できる蛍光灯型に力を入れたい」と話す。エクセルシステムは、ルクス・エナジーの県内総代理店を務める。

営業担当者3人を置くほか、県内各地に販売代理店を広げたいとしている。

エクセルシステムの2009年4月期の売上高は5億円。10年4月期は前年比約2割落ち込む見込み。LED事業では初年度売上高7千万円を目指す。

2010年(平成22年)

4月7日
水曜日

